

みんなのともだち

思い出

六年間の思い出

今保ソフトボール 藤本 煌人

この二年間を振り返って、悔しい思いもたくさんありましたが二試合一試合勝つことによりチームとして成長していく実感を感じることができ、とても楽しく試合に挑むことができました。チームとしての最大の目標である市子連中央大会にも御南として初出場することができ優勝までのぼりつめることができました。

六年生大会では、吉備西学区と合同でスポーツ少年団との岡山県一番を決める大会に参加し、決勝まで進むことができ、県営球場でも思い出に残る一試合を行うことができました。

これまで六年間楽しくソフトボールが来たのは、コーチやチームメイトがいてくれたからだと思います。キャプテンとして不安だったことや大変だったこともたくさんありましたがこのチームだったからのりこえることができたこのチームメイトのみんなにはとても感謝しています。六年間ありがとう!!



▲今保ソフトボール



▲今保ポートボール

がんばってきたポートボール

今保ポートボール 宮内 麗桜

私は一年生からポートボールをしてきました。最初は、試合に出れず、「早く試合に出たいな。」と思っていました。だんだんと試合に出れるようになりましたが、くやしい思いをたくさんしました。練習でコーチからは、

第31号

令和7年3月10日発行

発行者

御南学区子ども会

育成連絡協議会

会長 山室 祐樹

編集者 事務局

制作・印刷

研精堂印刷株式会社

岡山市北区高柳東町13番12号

TEL.086-254-6471

子供会での思い出

今保子ども会会長 池田 理仁

「学年は一緒なんだから違いはない」「練習のために練習をするのではなく、試合のために練習をしない」と言われてきました。その言葉を胸に刻み、いつも練習にはげみました。六年生になると、私たちがチームを支えていくことになり、六年生たちの中で出来た目標は、「中央大会で優勝すること」。

そのためにたくさんの練習や、努力を重ねました。中央大会の優勝は、おしくものがしてしまいましたが残り少ない試合もあきらめない事を忘れず、六年間がんばってきた経験を生かして中学校でもがんばりたいです。

最初は、楽しいのかなという不安や心配のほうが大きかったです。だけど、香川の中野うどん学校でうどんをいちからつくったり、夏まつり、秋まつり、かるた取り大会などいろいろなイベントを体験して、心配から楽しいのほうが大きくなりました。二年生の始め、コロナという感せんしょうの病気に、全国各地の人がなやまされました。子供会でのイベントや学校での行事がいつきになくなりました。そのときばかりはすごく悲しかったです。

五年生になり、コロナ禍がだいぶおさまリ、イベントや行事が復活しました。復活してうれしかったけど、二年間しか楽しめませんでした。まだイベントや行事を楽しみたいからもう一回小学校生活をやりなおしてみたいです。